

会告

「高速道路計画で危機を迎えた世界遺産平城宮跡を考える」シンポジウムの開催、及び主催団体・幹事団体としての参加について

京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画に反対する運動は、別記のように大きな盛り上がりを見せているが、こうした状況を受けて、この計画に反対する多くの学会・団体・市民の声を集約する形で「高速道路計画で危機を迎えた世界遺産平城宮跡を考える」シンポジウムが企画され、「世界遺産平城宮跡を考えるシンポジウム」実行委員会が組織されるに至った。本簡学会としても運動の趣旨に鑑み、また学会として最初に計画の撤回を求める声明を出して諸学会に協力を求めてきた経緯もあり、委員各位の了解のもと、主催団体としてシンポジウム実行委員会に加わり、さらに日本考古学協会、高速道路から世界遺産・平城京を守る会とともに幹事団体として事務局の一翼を担うことになった。同シンポジウムは次のような日程・内容で開催された。

「高速道路計画で危機を迎えた世界遺産平城宮跡を考える」シンポジウム

〔日時〕 二〇〇一年一月一日（日）一〇時～一六時三〇分

〔場所〕 明治大学大学会館八階大会議室

〔内容〕

開会挨拶 甘粕 健氏（日本考古学協会）

第一部 講演

佐藤宗諱氏（本簡学会、奈良女子大学）「古代史研究と平城木簡」
小笠原好彦氏（日本考古学協会、滋賀大学）「聖武天皇と四都」
野口英雄氏（前ユネスコパリ本部文化遺産部アジア・太平洋・欧州部長、都留文科大）

第二部 パネル・ディスカッション

「世界遺産・平城宮跡の保全と活用をめぐる」

パネラー 佐藤宗諱氏、小笠原好彦氏、野口英雄氏、

西山要一氏（奈良大学）、仁藤敦史氏（国立歴史民俗博物館）

小井修一氏（高速道路から世界遺産・平城京を守る会）

コーディネーター 寺崎保広氏（奈良大学）

主催 シンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」実行委員

会（代表鈴木重治）

後援 明治大学考古学研究室・考古学博物館

参加団体 大阪歴史学会 関西文化財保存協議会 京都民科

歴史部会 考古学研究会 高速道路から世界遺産・平城京

を守る会 古都奈良の歴史的遺産と景観を守る市民共同フ

ォーラム 難波宮址を守る会 奈良県文化財保存対策連絡

会 奈良県歴史教育者協議会 奈良世界遺産市民ネット

ワーク 奈良文化財研究所職員組合 奈良歴史研究会 日

本考古学協会 日本史研究会 日本歴史学協会文化財保護

特別委員会 文化財保存全国協議会 本簡学会 歴史学研

究会 歴史教育者協議会

（以上、一九団体。一〇月一四日現在）